魔王ガノンに　たちむかう　少年リンクの　ゆう気と
あいの　たびだちが　いよいよ　はじまる…。

イラスト／斎藤純一郎

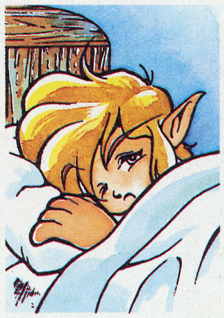
©NINTENDO

ゼルダの伝説

リンクの大冒険

森と　山に　かこまれた　うつくしい　くに、ハイラル。
この　くにに、リンクと　いう　少年が
おじさんと　二人で　くらして　いました。

1 あらしの よるの ことです。
「たすけて、たすけて ください。」
とつぜん、ゆめの 中に
女の子の こえが して、
リンクは 目を
さましました。
「ゆめか…。」
みると、
まよなかなのに
おじさんは 出かける したくを
しています。「ちょっと おしろまで
いってくる。おまえは いえから
出るんじゃ ないよ。」
そう いうと、おじさんは、
そとへ とび出して いきました。

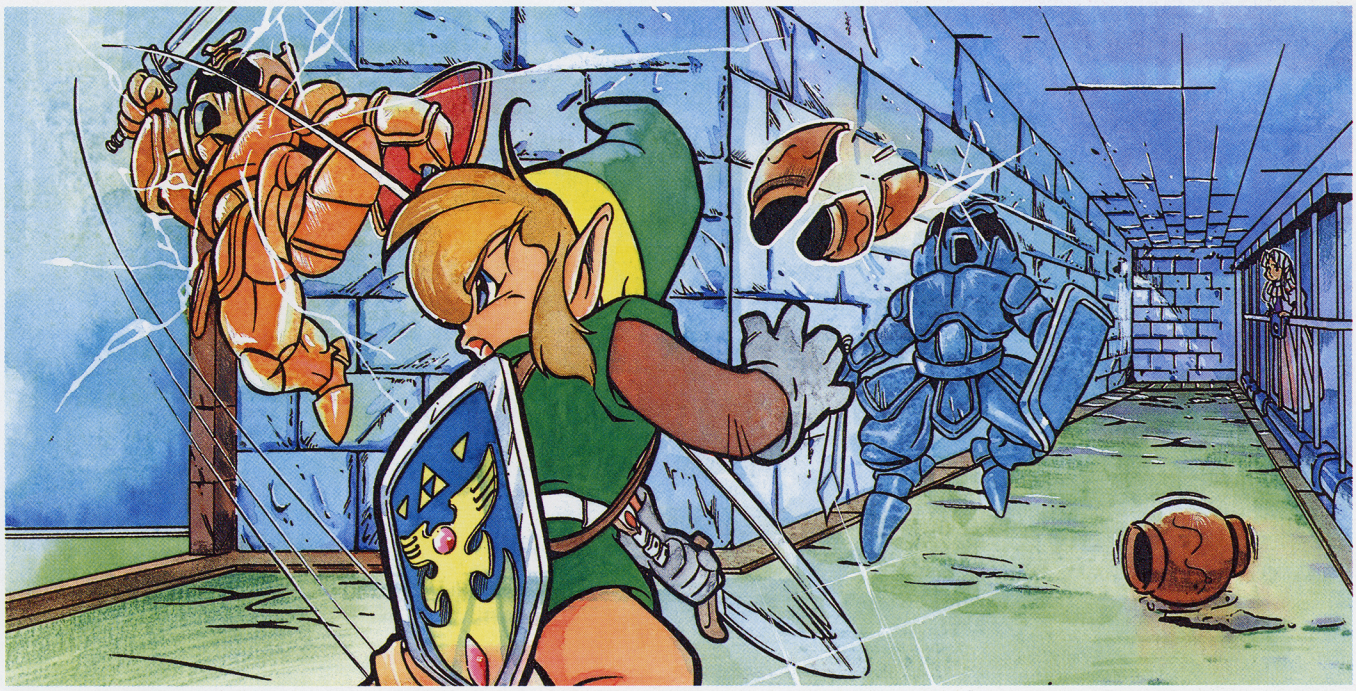


2 「たすけて！」
また、女の子の こえです。
すがたは 見えないのに、こえ
だけが きこえてくるのです。
「わたしの 名は ゼルダ。ハイ
ラルの 王女です。おしろの
ちかろうに とじこめられて

3

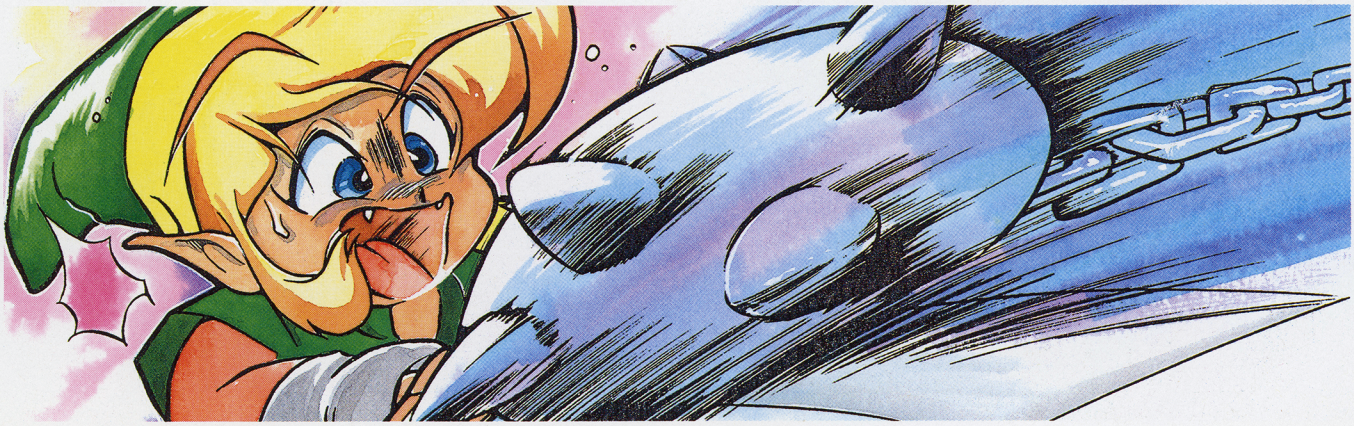
「おしろの ひがしに ひみつの
入り口が あります。」
女の子の こえに みちびかれ、
リンクは すすみます。そして、
しげみに かくされた あなを
見つけました。
中は、まっくらです。ゆう気を
出して、リンクは とびこみました。
「いててっ、あっ おじさん！」
なんと、あなの そこに、おじ
さんが たおれて いたのです。
「おまえにも ひめの こえが
きこえたのか。もう わしは
たたかえない。この けんと
たてを おまえに あげよう。
ひめを たのんだぞ。」
「おじさあああん！」

います。」
「ゆめじゃ ない！」
リンクは、どきどきして
いても たっても いられません。
ランプを かた手に あらしの
中を はしり出しました。

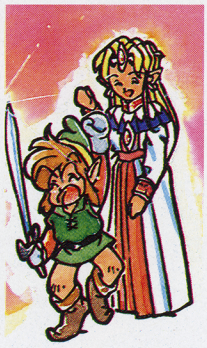


4 しろの　中は　おそろしい
へいたいたちで　いっぱいです。
リンクは、つぼを　ぶつけて
てきを　きぜつさせたりして、
しろの　おくまで　すすみました。
そして、ついに　ゼルダひめの
ろうやを　はっけんしたのです。
「うわあ！」
あわてて　とび出した
リンクに、大きな　てつの　玉が
とんで　きました。
「ひとりで　のりこんでくるとは
いい　どきょうだ。あいてに
なって　やる。」
てつの　玉を　ふりまわす
へいたいが　立ちはだかりました。
リンクは　けんを　ふりまわし
ましたが、へいたいは　びくとも
しません。リンク　大ピンチ！

5 「じぶんの　力を　しんじる
のだ。」リンクは　おじさんの
ことばを　おもいだしました。



「ひめを　たすけなくちゃ…。」
リンクは　立ち上がりました。
けんを　りょう手で　にぎりしめると、ふしぎな　ことに
けんが　ひかりはじめました。
「いくぞ！」
けんを　力いっぱい　ふりおろすと、あたりいちめん　ひかりが
はじけて、へいたいは　たおれました。
「ありがとう、リンク。さあ、
早く、おしろを　出なくては。
ハイラルの　くにが　ほろびてしまうかも…。」
ゼルダひめを　たすけた
リンク。これから　ほんとうの
ぼうけんが　はじまるのです。



5月ごうに
つづきます。

おそろしい　まものが　まちうける　なぞの　しんでんへ。リンク、がんばれ！